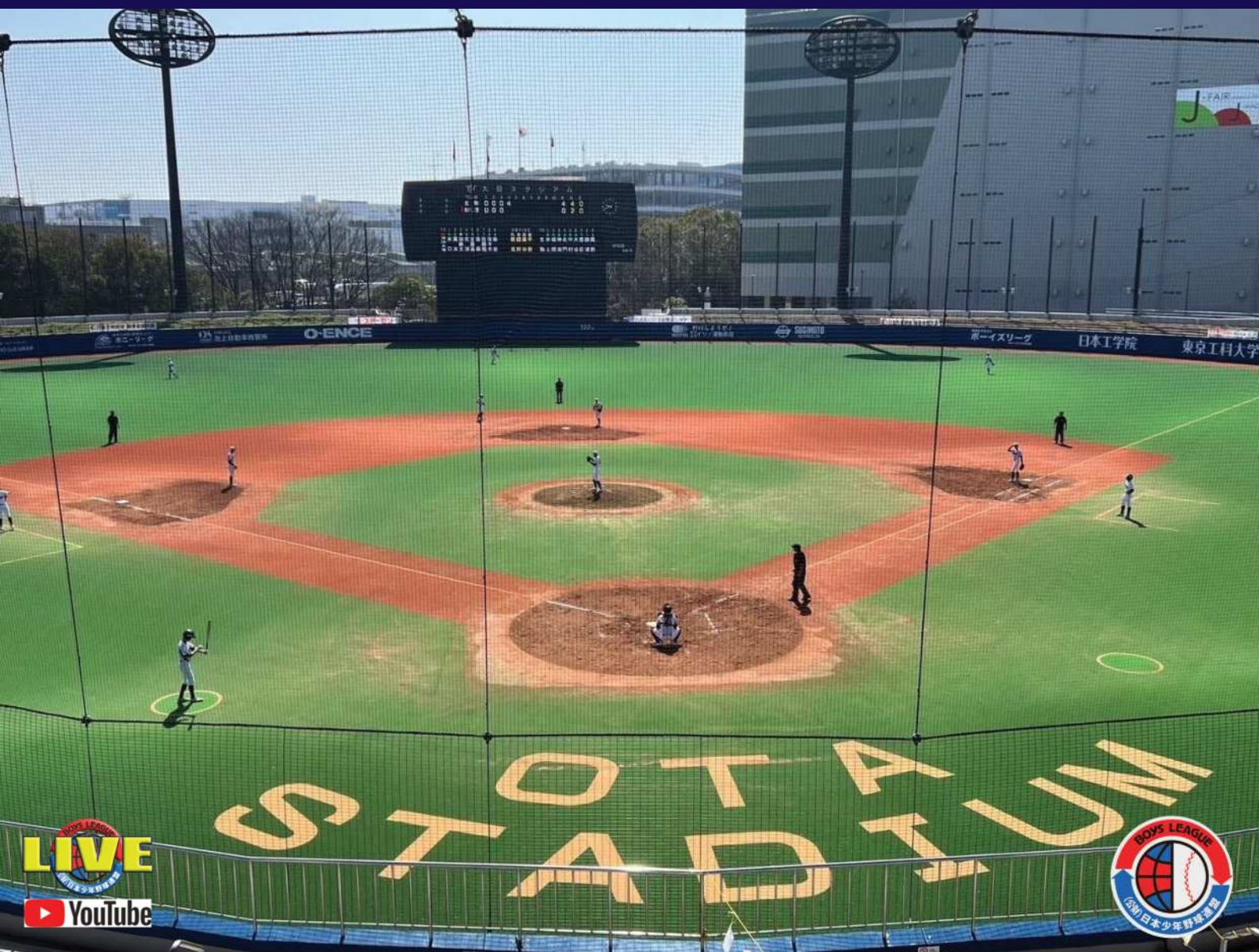




第2回ウルフィキャラバン旗・サラスポーツ杯争奪兼スターゼンカップ 第56回日本少年野球春季大会中日本ブロック小学生の部予選大会



大会期日 2026. 2. 15 (日) 2. 21 (土) 決勝 2. 28 (土) 予備3/1

場 所 四日市市霞ヶ浦第三球場・新城有海グラウンド

開 会 式 四日市市霞ヶ浦第三球場 2月15日 (日) 午前9 : 00～

〔主催〕 公益財団法人日本少年野球連盟中日本ブロック

〔主管〕 三重県支部 〔協力〕 愛知県東支部・愛知県西支部・愛知県中央支部

〔特別協賛〕 メ〜テレ・サラスポーツ



〔協賛〕 株式会社エスエスケイ 株式会社P&P浜松



HANDRING BRAND

SSK

Mizuno



hummel

NEWB



各種スポーツ用品、遊園具、サプリメント、体育器具 等々

SARA SPORTS

〒510-0087 三重県四日市市西新地14-1
太平洋四日市ビル6F-C

TEL / FAX **059-327-7771**

E-mail sarasports21@gmail.com



公益財団法人 日本少年野球連盟

BOYS LEAGUE

中日本ブロック

野 球 を し な が ら
団 結 ・ 友 愛 ・ 規 律 ・ 勇 気 ・ 忍 耐
を 身 に つ け よ う

(公財) 日本少年野球連盟規約 第3条

本財団は、ボーイズリーグを通じ、硬式野球を愛好する少年に

正しい野球のあり方を指導し、野球を通じて心身の錬磨と

スポーツマンシップを理解させることに努め、

規律を重んじる明朗な社会人としての基礎を養成し、

もって次代を担う少年の健全育成を図ることを目的とする。

公益財団法人 日本少年野球連盟

会長 大 富 肇

[本部] 大阪市浪速区日本橋西1丁目3番19号
南海日本橋ビル2階

TEL (06) 6649-0061

野球をやるならボーイズリーグ

「目指せ！春季全国大会」

ご挨拶



公益財団法人日本少年野球連盟
中日本ブロック長 坂野 晃嗣

「ウルフィキャラバン旗サラスポーツ杯争奪兼第 56 回日本少年野球春季全国大会中日本ブロック予選大会」が中日本ブロックの小学生の部12チームの参加を得て、四日市市霞ヶ浦第3球場を中心に盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

本大会は、中日本ブロック小学生の部に所属するチームによる大会であり、3月に開催される「日本少年野球春季全国大会」への出場権をかけ、2チームが選出される大変意義深い予選大会であります。

近年、国内外のプロ野球界において、日本人選手が目覚ましい活躍を見せて、世界を舞台に活躍する選手の姿が、多くの子供たちに夢と希望を与えています。本大会に出場している選手の皆さんも、野球に限らず、それぞれの夢に向かって日々挑戦していることと思います。

少子化が進む中であっても、ボーイズリーグが大切にしているのは、野球を通じて次代を担う青少年の健全育成を図り、人としての土台を育むことにあります。

小学生の部の選手の皆さんは、日頃の練習で指導者の方々から学んだことを存分に発揮し、悔いのない試合を行っていただきたいと思います。

本大会が、皆さんにとって、心に残る素晴らしい大会となることを心より願っております。

最後になりましたが、本大会の開催にご協賛を賜りましたメ〜テレ様、サラスポーツ様ならびに協賛各社様、また大会を主管して頂きます三重県支部・中日本ブロックの役員の皆様、審判員の皆様に心より感謝を申し上げ、大会会長としての挨拶とさせていただきます。

大会役員

《大会会長》

日本少年野球連盟理事長
中日本ブロック長 坂野 晃嗣

《大会副会長》

サラスポーツ 宇佐美 義文

日本少年野球連盟理事長 杉浦 真一

中日本副ブロック長

日本少年野球連盟理事長 松尾 勝

中日本副ブロック長

《大会委員長》

日本少年野球連盟理事待遇

中日本ブロック企画運営部長 松尾 勝

《大会運営委員長・大会副委員長》

日本少年野球連盟理事待遇

中日本ブロック企画運営副部長 伊藤 大輔

中日本ブロック行事委員長

《大会総務部長》

日本少年野球連盟理事 杉浦 真一

中日本ブロック総務部長

《大会広報委員長》

日本少年野球連盟理事待遇

中日本ブロック広報委員長 星野 忠啓

《大会IT委員長》

日本少年野球連盟理事 杉浦 真一

中日本ブロックIT委員長

《大会総務部》

中日本ブロック監事 高村 治

岡崎葵ボーイズ代表

愛知県東支部副支部長 太田 英孝

《大会運営副委員長（球場責任者）》

北陸支部 支部長 山西 祥夫

福井県支部 支部長 鳥井 明彦

静岡県支部 支部長 山本 浩士

愛知県東支部 支部長 富田 敏正

愛知県中央支部 支部長 東 亜行

愛知県西支部 支部長 荒川 達哉

岐阜県支部 支部長 澤田 和尚

三重県支部 支部長 三林 隆道

《大会顧問》

日本少年野球連盟会長 大 富 肇

日本少年野球連盟副会長 工 藤 真一

日本少年野球連盟副会長 飯 田 研二

日本少年野球連盟専務理事 岡 陽 一

日本少年野球連盟専務理事 吉 岡 正人

日本少年野球連盟専務理事 山 崎 幸二

日本少年野球連盟専務理事 中 村 肇

日本少年野球連盟専務理事

日本少年野球連盟専務理事

日本少年野球連盟専務理事

日本少年野球連盟専務理事

《大会相談役》

中日本ブロック相談役 堀 内 健

《大会事務局長》

中日本ブロック事務局長 三 河 一輝

中日本ブロック副事務局長 中 山 貴資

三重県支部事務局長

《大会事務局》

愛知県西支部副支部長 中 村 直人

総務部長・事務局長

愛知県東支部事務局長 丹 羽 英之

豊橋ボーイズ代表

《大会会計部》

中日本ブロック会計部長 荒 川 達哉

愛知県東支部会計 渡 邊 誠

愛知幸田ボーイズ代表

三重県支部会計部長 野 沢 典子

《大会広報委員》

三重県支部副支部長 岩 本 宗幸

広報委員長

愛知県東支部広報委員長 伊 東 敬晴

新城ボーイズ代表

《大会審判部長》

日本少年野球連盟理事待遇

中日本ブロック審判委員長 藤 本 善一

《大会審判長》

中日本ブロック審判長 上 野 久博

《大会審判事務局》

中日本ブロック審判事務局長 木 崎 勝広

《大会審判員》

中日本ブロック審判員諸氏

大会日程

《開会式》

2月15日(日)9:00 四日市市霞ヶ浦第三野球場 雨天の場合 中止

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 来賓、役員、審判員・選手整列 | 6 来賓紹介 |
| 2 選手入場 | 7 祝電披露 |
| 3 国旗、連盟旗掲揚 | 8 選手宣誓 |
| 4 開会宣言 | 9 始球式 |
| 5 大会会長挨拶 | 10 来賓、役員、審判員・選手退場 |

《閉会式》

2月28日(土) 12時 四日市市霞ヶ浦第三野球場

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 来賓、役員、審判員・選手整列 | 5 大会会長挨拶 |
| 2 成績発表 | 6 国旗、連盟旗降納 |
| 3 表彰 | 7 閉会宣言 |
| 4 メダル授与 | 8 来賓、役員、審判員・選手退場 |

小学生の部

大会日程(予備日 3月1日)

2月15日(日)大会1日目		第1試合	第2試合	第3試合
(A)	新 城 有 海 グ ラ ウ ン ド	12:00	14:00	
(B)	霞 ケ 浦 第 三 球 場	10:30	12:30	
2月21日(土)大会2日目		第1試合	第2試合	代表決定戦
(A)	新 城 有 海 グ ラ ウ ン ド	09:00	11:00	13:00
(B)	霞 ケ 浦 第 三 球 場	10:00	12:00	14:00
2月28日(土)大会3日目		決勝戦		LIVE配信予定
(B)	霞 ケ 浦 第 三 球 場	10:00		

撮影とSNS投稿の注意事項

本大会の試合に参加する当連盟所属チームの選手・関係者を撮影されます際には、被写体となる方の肖像権にご配慮頂き、個人が特定されるような方法で撮影されないようにお願いします。また、試合内容をSNSなどで公表される際には、選手・関係者の肖像権及びプライバシーにご配慮いただき、これらの無断公表とならないようにお願いします。

球場案内

霞ヶ浦第三球場

〒510-0012
三重県四日市市羽津乙



新城有海グラウンド

〒441-1317
愛知県新城市有海字鳥影1-2



SSK



proedge



株式会社 エスエスケイ お客様相談室 ☎ 0120-50-7789 午前9:30～午後5:30(土・日・祝日を除く)



第2回ウルフィキャラバン旗・サラスポーツ杯争奪兼スターゼンカップ 第56回日本少年野球春季大会中日本ブロック小学生の部予選大会



公益財団法人 日本少年野球連盟

ボーイズリーグ



A:新城有海グラウンド B:霞ヶ浦第三野球場



ボーイズリーグ

中日本ブロック
公式チャンネル

連盟HP

中日本HP

中日本Instagram



中日本大会



大会規定

- 1、 チームの登録選手は9名以上20名以内とする。
- 2、 出場選手はその大会の登録締め切り日現在連盟への登録済の者に限る。
- 3、 審査証は当年度発行のものとする。
- 4、 登録選手および登録された代表若しくはチーム責任者、監督、コーチ、マネージャーのみベンチに入ることが出来る。但し、各種登録証(代表若しくはチーム責任者、監督、コーチ)および審査証(選手)を携帯していないものは、いかなる場合でもベンチには入れないが監督、コーチは試合開始までに間に合った場合は、審査のうえベンチ入りできる。また、選手は試合終了までに間に合った場合は、審査のうえその時点でベンチ入りを認める。
- 5、 チーム責任者が不在の場合は試合ができない。
- 6、 組み合わせの若番号が1塁側のベンチ、後番号が3塁側のベンチに入る。ただし、チーム責任者、監督、コーチは登録証を携帯すること。
- 7、 監督(背番号60)、コーチ(背番号50)は選手と同じユニフォームを着用すること。
- 8、 試合開始時刻 60 分前までに試合球場に到着し、直ちにオーダー表 5 部、投球数記録表 3 部を大会本部に提出のうえ所定の審査を受けなければならない。
- 9、 オーダー表交換時に両キャプテンにより、先攻、後攻をジャンケンで決める。
- 10、 試合予定開始時刻までにチームがグラウンドに現れないときには、球場責任者と責任審判員が協議して、没収試合を宣言することができる。
- 11、 試合方式など
 - (1)各試合は 6 回戦で行い、4 回終了をもって正式試合とする。試合成立後は試合開始から 1 時間 40 分を超えた場合、新しいイニングには入らない(後攻チームの得点が先行チームの得点より多い場合は後攻チームが攻撃中でも規定時間になれば、その時点で試合を終了する)。また降雨や視界不良などにより試合続行が不可能となった場合、野球規則7.01(4)により勝敗を決する。同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。
試合成立前に上記の理由により試合続行が不可能となった場合は、サスペンデッドゲームとする。
 - (2) 4 回以降 7 点差の場合、コールドゲームとする。
 - (3) 6 回終了後、同点の場合
新しいイニングに入らず、タイブレーク方式を実施する。
(競技に関する特別規則「タイブレーク実施細則」参照)
- 12、 (1)投手は、投球数制限を採用する。 ※詳細は別紙投球数制限資料参照
- 13、 (1)監督またはコーチの指示、伝達は1試合で攻撃2回と守備2回の計4回とする。延長またはタイブレークに入った場合は、それぞれで1回の指示、伝達を認める。(選手の怪我や交代などの指示、伝達は回数に入らない。)
(2)守備側の投手に対する支持、伝達が3回目となれば、自動的に投手は交代となり、その投手は他の守備位置についてもよいが、再び投手として登板することはできない。
(3)内野手が2人以上投手のところに行った時も1回に数える。
(4)指示、伝達は審判がタイムを宣告してから「30秒以内」とする。
- 14、 1イニングで同一の投手に対して指示、伝達が2回目となれば、自動的に投手の交代となる。その投手は他の守備位置につくことができるが、同一イニングでは投手として登板することができない。ただし、新しいイニング入れば、再び投手として登板することができる。
- 15、 審判員の判定に対する抗議は認めない。ただし、ルールの適用についての確認は認める。
- 16、 監督またはコーチが投手に指示などをするとき、マウンドのところで行うこと。(ベンチからは駆け足で)
- 17、 2塁走者やベースコーチなどが捕手のサインを盗んで、打者にコースや球種を伝える行為を禁止する。
- 18、 ボール回しをするときは一回りとし、最終野手は、その定位置から返球する。また、打者が打撃を継続中、塁上で走者がアウトになった場合のボール回しは禁止する。

- 19、投手は走者をアウトにする意思がないのに、無用のけん制球を繰り返すとか、または送球するまねを何度でも繰り返す行為は、試合のスピーディな進行の妨げになるため禁止とする。
- 20、小学生の部は、攻撃側チームの監督、コーチに限りコーチボックス内でベースコーチを務めてもよい。この場合、必ず両耳付きヘルメットを着用すること。
- 21、各チームは同色のヘルメット7個以上、捕手の規定防具[マスク、捕手用ヘルメット、プロテクター、レガース、スロートガード、ファールカップ(一体型捕手マスクの場合はヘルメット、スロートガードを除く)]2組を揃えること。
- 22、ユニフォーム、バット、ボール、スパイク、グラブ等は連盟指定業者のものに限る。
- 23、捕手は必ずヘルメットならびに規定防具を試合、練習を問わず着用すること。
- 24、グラウンドの都合で大会トーナメント規定が別に制定された場合は、それに従うこと。
- 25、ベンチ内での携帯電話の使用を禁止する。
- 26、光化学スモッグ発生の場合、試合および選手に対する措置は別に定め、運営委員の指示に従う。
- 27、試合前のシートノックは原則として5分間行うが、当該球場のグラウンド状況や試合終了時間を勘案して、シートノックを行うか否かは球場責任者が決定するものとする。
- 28、守備側チームカントクが故意四球とする意思を球審に対して、打者が一塁を与えられた時には、故意四球が記録される。
- 29、その他の規定は連盟の規定に順ずるものとする。

参考 野球規則7.01(4)

7.02(a)によりサスペンデッドゲームにならない限り、コールドゲームは、球審が打ち切りを命じた時に終了し、その勝敗はその際の両チームの総得点により決する。

【注】我が国では、正式試合となった後のある回の途中で球審がコールドゲームを宣したとき、次に該当する場合は、サスペンデッドゲームとしないで、両チームが完了した最終均等回の総得点でその試合の勝敗を決することとする。

- (1) ビジティングチームがその回の表で得点してホームチームの得点と等しくなったが、表の攻撃が終わらないうち、または裏の攻撃が始まらないうち、あるいは裏の攻撃が始まってホームチームが得点しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。
- (2) ビジティングチームがその回の表でリードを奪う得点を記録したが、表の攻撃が終わらないうちまたは裏の攻撃が始まらないうち、あるいは裏の攻撃が始まってホームチームが同点またはリードを奪い返す得点を記録しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。

<タイプブレーク実施規則>

(1) 特別規則

- (イ) 小学生の部は試合開始から1時間40分を、
超えて両チームの得点が等しいとき、以降の回の攻撃は一死走者満塁の状態から行うものとする。
- (ロ) 打者は、前回正規に打撃を完了した打者の次の打順の者とする。
- (ハ) この場合の走者は、前項による打者の前の打順の者が一塁走者、一塁走者の前の打順の者が二塁走者、そして、二塁走者の前の打順の者が三塁走者となる。
- (二) この場合の代打および代走は認められる。
- (2) チームおよび個人記録 チームおよび個人記録は公式記録とするが、以下に掲げる事項に留意すること。
 - (イ) 投手記録
 - ・規定により出塁した3走者は、投手の自責点とはしない。
 - ・完全試合は認めない
 - ・無安打、無得点試合は認める。
 - (ロ) 打撃成績
 - ・規定により出塁した3走者の出塁の記録はないものとする。ただし、盗塁、盗塁死、得点、残塁などは記録する。
 - ・規定により出塁した3走者を絡めた打点、併殺打などは全て記録する。

- 19、投手は走者をアウトにする意思がないのに、無用のけん制球を繰り返すとか、または送球するまねを何度でも繰り返す行為は、試合のスピーディな進行の妨げになるため禁止とする。
- 20、小学生の部は、攻撃側チームの監督、コーチに限りコーチボックス内でベースコーチを務めてもよい。この場合、必ず両耳付きヘルメットを着用すること。
- 21、各チームは同色のヘルメット7個以上、捕手の規定防具[マスク、捕手用ヘルメット、プロテクター、レガース、スロートガード、ファールカップ(一体型捕手マスクの場合はヘルメット、スロートガードを除く)]2組を揃えること。
- 22、ユニフォーム、バット、ボール、スパイク、グラブ等は連盟指定業者のものに限る。
- 23、捕手は必ずヘルメットならびに規定防具を試合、練習を問わず着用すること。
- 24、グラウンドの都合で大会トーナメント規定が別に制定された場合は、それに従うこと。
- 25、ベンチ内での携帯電話の使用を禁止する。
- 26、光化学スモッグ発生の場合、試合および選手に対する措置は別に定め、運営委員の指示に従う。
- 27、試合前のシートノックは原則として5分間行いが、当該球場のグラウンド状況や試合終了時間を勘案して、シートノックを行うか否かは球場責任者が決定するものとする。
- 28、守備側チームカントクが故意四球とする意思を球審に対して、打者が一塁を与えられた時には、故意四球が記録される。
- 29、その他の規定は連盟の規定に順ずるものとする。

参考 野球規則7.01(4)

7.02(a)によりサスペンデッドゲームにならない限り、コールドゲームは、球審が打ち切りを命じた時に終了し、その勝敗はその際の両チームの総得点により決する。

【注】我が国では、正式試合となった後のある回の途中で球審がコールドゲームを宣したとき、次に該当する場合は、サスペンデッドゲームとしないで、両チームが完了した最終均等回の総得点でその試合の勝敗を決することとする。

- (1) ビジティングチームがその回の表で得点してホームチームの得点と等しくなったが、表の攻撃が終わらないうち、または裏の攻撃が始まらないうち、あるいは裏の攻撃が始まってホームチームが得点しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。
- (2) ビジティングチームがその回の表でリードを奪う得点を記録したが、表の攻撃が終わらないうちまたは裏の攻撃が始まらないうち、あるいは裏の攻撃が始まってホームチームが同点またはリードを奪い返す得点を記録しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。

<タイプブレーク実施規則>

(1) 特別規則

- (イ) 小学生の部は試合開始から1時間40分を、
超えて両チームの得点が等しいとき、以降の回の攻撃は一死走者満塁の状態から行うものとする。
- (ロ) 打者は、前回正規に打撃を完了した打者の次の打順の者とする。
- (ハ) この場合の走者は、前項による打者の前の打順の者が一塁走者、一塁走者の前の打順の者が二塁走者、そして、二塁走者の前の打順の者が三塁走者となる。
- (二) この場合の代打および代走は認められる。
- (2) チームおよび個人記録 チームおよび個人記録は公式記録とするが、以下に掲げる事項に留意すること。
 - (イ) 投手記録
 - ・規定により出塁した3走者は、投手の自責点とはしない。
 - ・完全試合は認めない
 - ・無安打、無得点試合は認める。
 - (ロ) 打撃成績
 - ・規定により出塁した3走者の出塁の記録はないものとする。ただし、盗塁、盗塁死、得点、残塁などは記録する。
 - ・規定により出塁した3走者を絡めた打点、併殺打などは全て記録する。

＜投球数制限について＞小学部(レギュラーの部)

小学部のレギュラー及び、ジュニアの試合での登板は以下の通り制限する。

- ① 1日最大**70**球とし、連続する2日間で**105**球とする。
3連投(連続する3日間)は禁止とする。
- ② 大会中は1日**70**球以内とし、翌日投球を休めば3日目**70**球の投球を可とする。
- ③ ①～②を基本原則とするが、打者の途中で制限数が来た場合は当該打者の打席終了までは投球を認める。
制限数を超過した球数は投球にカウントしない。
3連投させたい場合の1日目及び2日目の40球以上はカウントされる
- ④ ボークは投球数にしない。
- ⑤ 雨などノーゲームになった試合は投球にカウントする。

※小学部共通事項

1. ダブルヘッダーの場合で、2試合に登板した時は連続2日間投球した事とし、翌日は登板できない。
(ダブルヘッダーの登板は可/3連投は不可)また、1試合のみ登板した場合は、1日の投球とする。
2. 小学部に於いては投手から捕手の制限は設けないが、指導者は十分考慮すること。

- ・野球用品は、すべて連盟指定業者のものを使用することが義務付けられています。
- ・試合終了後のグラウンド整備は、両チームの選手が共同で実施すること。

「小学生投手の投球制限統一ガイドライン」の適用例

	第一 日目	第二 日目	第三 日目	第四 日目	備 考
投手A	70	0	70	35	70球投げた翌日には登板していないため、翌々日には70球投球できる。 (打者終了時に70球を超えても、1試合分の最大カウント数は70球)
投手B	70	35	休	70	連続する二日で105球の制限があるため、一日目70球投球した場合、 二日目は35球が最大となる。
投手C	30	30	休	70	一日の最大投球数70、かつ連続する二日間105球未満だが、3連投禁止のため、 第三日目は登板できない。＊捕手としては出場可能
投手D	50 20	休	70	35	ダブルヘッダーの登板は可能だが、一日70球制限のため、第一日目の1試合目に 50球投球した場合、2試合目は20球が最大となる。 また、ダブルヘッダーで2試合登板した場合、連続する二日間投球を 行ったことになるため、第二日目は登板できない。＊捕手としては出場可能
投手E	35	0 70	休	70	第一日目に登板しているため、第二日目のダブルヘッダーは、1試合目、2試合目 どちらかしか登板できない。加えて、3連投禁止のため、 第三日目は登板できない。＊捕手としては出場可能 連続する二日で105球の制限があるため、第二日目は70球が最大となる。

【小学生・中学生 共通事項】

※打席の途中で制限数がきた場合は当該打者の打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球数にカウントしない。
 ※数字は投球数。「休」は投手・捕手として出場できない日。(小学生は捕手の出場は可)「0」は登板しなかった試合。
 ※指導者は、公式戦だけでなく、練習試合も対象となっていることを認識する。

大会観戦時の注意事項

【 撮影とSNS投稿に関して 】

当連盟所属チームの選手・関係者を撮影されます際には、被写体となる方の肖像権にご配慮頂き、個人が特定されるような方法で撮影されないようにお願いします。

また、撮影は手持ち撮影のみとし、三脚の使用や球場設置物へのカメラの固定は禁止いたします。

試合内容をSNSなどで公表される際には、選手・関係者の肖像権及びプライバシーにご配慮いただき、これらの無断公表とならないようにお願いします。

【 応援に関して 】

球場利用上のルールにより、声、拍手以外の鳴り物の使用は禁止いたします。

いつもご協力・応援ありがとうございます！

(公財) 日本少年野球連盟

[illegible]

愛知県東支部 小坂井ボーイズ		
代 表 監 督 コーチ スコアラ- 背番号	選手名	学年
4 主将	岩田 健志	6年
1	中野 志玲	5年
2	今泉 湊真	4年
3	日下 滉大	4年
5	渋谷 皆叶	4年
6	岩田 清志	4年
7	金子 真大	4年
8	石川 竜大	5年
10	小澤 侑史	5年
15	酒井 暖稀	5年
17	宇井 璃空	5年
18	尾崎 一心	5年
22	小久保 和真	5年
33	岩永 武琉	5年
44	大林 煌琥	4年

愛知県中央支部 東海ボーイズ		
代表監督	加藤 剛司	
コーチ	志賀 裕一	
スコアラー	金井 慎司	
背番号	佐藤 元彦	
	選手名	学年
17 主将	佐藤 優	6年
0	モイセエフ アルチョーム	5年
1	モイセエフ キリル	1年
2	西田 凰雅	2年
5	内藤 大和	6年
7	小澤 后都	5年
8	日榮 一翔	6年
18	川分 椛暖	6年
21	開米 悠生	5年
25	川分 緋人	6年
34	田中 ライアン	1年
37	飯田 夏葵	3年
44	田中 ランディ	5年

[illegible][illegible]

6	愛知県東支部 新城ボーイズ		
代表監督	伊東敬晴		
コーチ	青木剣太郎		
スコアラー	柴田克佳		
背番号	選手名	学年	
17 主将	内田陽久	6年	
11	田中想大	5年	
12	森本陽路	5年	
15	加藤琴菜	4年	
16	及部璃央	6年	
19	今泉涼雅	5年	
20	武知蓮大	4年	
21	安藤大峨	6年	
22	上田咲斗	4年	
23	古賀櫻一郎	4年	
28	原田翼麻	4年	
33	河合泰地	6年	
45	柴田時実	5年	

小学生の部

7	愛知県東支部 豊川中央ボーイズ		
代 表	牧野 寛央		
監 督	竹内 洵太		
コーチ	内田 学良		
スコアラ―	朝倉 義博		
背番号	選手名		学年
8 主将	朝倉 健心		6年
0	溝口 瑠海		4年
1	齋藤 壮太		5年
2	石川 笑梨		5年
3	武馬 陽希		5年
5	谷口 翔唯		4年
9	赤沢 善悠		5年
10	渡部 群児		5年
15	朝倉 菜月		4年
18	小嶋 大基		5年
23	伊藤 大志		5年
24	長坂 成悠		6年
27	黒田 悦		5年
42	河合 壱斗		4年

[illegible][illegible][illegible][illegible]

愛知県西支部 稲沢中央ボーイズ		
代表監督	富倉 正樹	
コーチ	長尾 実	
スコアラー	伊藤 文博	
	西脇 祐司	
背番号	選手名	学年
22 主将	広田 爽真	6年
1	畑 秀樹	6年
2	加藤 光織	5年
4	久田 笑優	5年
5	與田 英斗	5年
6	池上 莉玖	5年
8	渡邊 小十郎	6年
10	橘 歩汰	5年
13	坂井 凱輝	5年
17	渡邊 成美	6年
18	今村 祐土	6年
19	佐野 裕真	6年
24	原田 昇虎	6年
25	堀場 瑛心	5年
27	畠山 登夢	4年
29	伊藤 律希	5年
44	山口 蒼麻	4年
55	河合 麗音	5年
66	安田 湊佑	4年
99	鈴木 泰誠	6年

賛助会のご案内

「未来の野球少年たちと一緒に応援しませんか？」

日本少年野球連盟の賛助会は、社会のさまざまな分野で活躍されている企業の皆様、地域の皆様から寄せられたご支援により、全国各地で様々な活動を行い、次世代の野球選手を育て、子どもたちが夢を追い続けられる環境を整えています。



公益財団法人 日本少年野球連盟

ボーイズリーグ



詳細はこちらから



公益財団法人 日本少年野球連盟

ボーイズリーグ



連盟HP



中日本ブロックHP



北陸支部HP



福井県支部HP



静岡県支部HP



愛知県東支部HP

子供たちの成長を応援！



愛知県中央支部HP



愛知県西支部HP



岐阜県支部HP



三重県支部HP

各チーム詳細はQRコードの支部HPよりご確認ください

公益財団法人日本少年野球連盟 中日本ブロック



人類総サムネ化 バラエティ



毎週日曜 夕方4時25分放送

MC:チョコレートプラネット